

平成25年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	日・ASEAN特別サミット関係経費	担当部局庁	アジア大洋州局・南部アジア部	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度開始	担当課室	地域政策課	課長 伊従誠				
会計区分	一般会計	政策・施策名	I-1 アジア大洋州地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項、外務省組織令第42条	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日・ASEAN交流40周年の記念年に日・ASEAN特別首脳会議を開催し、日・ASEANの各国首脳により日・ASEAN関係強化に向けた中長期的なビジョンを打ち出す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ASEANは、様々な東アジア地域協力において中心的な役割を果たしており、我が国としては、このようなASEANの地域協力における重要な役割を踏まえ、日本を含む東アジア地域の平和と繁栄を確保するため、ASEANとの関係を強化することが重要である。また、平成25年は日・ASEANが交流を開始し40周年に当たるとの重要な節目の年であることから、平成25年12月、日本において日・ASEAN特別首脳会議を開催する旨、平成24年11月の日・ASEAN首脳会議で合意している。							
実施方法	■直接実施 ■委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	64		
		繰越し等	-	-	-			
		計	-	-	-	64		
	執行額	-	-	-				
	執行率(%)	-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	首脳会議開催		成果実績		-	-	-	1回
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	首脳会議開催		活動実績 (当初見込み)		-	-	-	—
					-	()	()	1回
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	日・ASEAN特別首脳会議開催経費	64						
	計	64						

事業所管部局による点検						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国 必 要 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	首脳外交であり、国が実施すべき事業。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
	不用率が大い場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）					
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 （役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果						
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年		平成24年	新25－23

個別事業名： 日・ASEAN特別サミット関係経費

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

個別事業名： 日・ASEAN特別サミット関係経費

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	a					
	計		0	計		0
	B.			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名： 日・ASEAN特別サミット関係経費

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号

新25-2

平成25年行政事業レビューシート（外務省）									
事業名	日・ASEAN40周年記念行事関連経費			担当部局庁	アジア大洋州局・南部アジア部			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度開始			担当課室	地域政策課			課長 伊従誠	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-1アジア大洋州地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条、外務省組織令第39条			関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ASEANは、様々な東アジア地域協力において中心的な役割を果たしており、我が国としては、このようなASEANの地域協力における重要な役割を踏まえ、日本を含む東アジア地域の平和と繁栄を確保するため、ASEANとの関係を強化することが重要である。また2013年は日・ASEANが交流を開始し40周年に当たるとの重要な節目の年であることから、来年1年間を通じ、日・ASEAN双方において記念事業を実施する旨、2012年7月の日・ASEAN外相会議及び同年11月の日・ASEAN首脳会議で合意している。これを受け、本件事業により、同記念事業関連業務の実施を通じ、日・ASEANの相互理解を促進し、もって日・ASEAN関係の強化を促すことを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	40周年記念事業関連業務として、政府関係者、内外のASEAN関係者等を招いた記念レセプションを開催し、40周年を祝するとともに、人脈形成の強化を図る。また40周年記念リーフレット等の作成・配布を通じ、広く日・ASEANの国民各層に日・ASEAN関係の重要性を浸透させる。								
実施方法	■直接実施 ■委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	-	-	-	11			
		補正予算	-	-	-				
		繰越し等	-	-	-				
		計	-	-	-	11			
		執行額	-	-	-				
	執行率(%)	-	-	-					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	日・ASEAN40周年記念レセプションへの参加者数			成果実績		-	-	-	300
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	記念レセプション実施回数			活動実績 (当初見込み)		-	-	-	—
						-	()	()	
単位当たりコスト	記念レセプション 6百万/1回			算出根拠	執行予定額／実施予定の事業回数				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	レセプション開催費		6						
	広報宣伝費		3						
	親善大使旅費		2						
	計								

事業所管部局による点検					
	項 目	評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	外交政策に関わる事業となっており、国が実施すべき事業		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		広報資料作成業者等は一般競争入札を実施し選定する。また、費目・使途については必要最低限に絞り込んだものとなっており、コスト削減に努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	単位当たりコストの水準は妥当か。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		日・ASEAN関係の重要性を広報する上で、必要不可欠な事業であり、2003年(日ASEAN30周年)と同様、年間を通じ効果的に実施する予定。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		日・ASEAN関係の重要性を広報する上で、必要不可欠な事業であり、2003年(日ASEAN30周年)と同様、年間を通じ効果的に実施する予定。		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	事業番号 類似事業名 所管府省・部局名				
点検結果	事業の目標達成はもちろんのこと、合理的な支出を行い、コスト削減に努める。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年 新25-19

個別事業名： 日・ASEAN40周年記念行事関係経費

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

個別事業名： 日・ASEAN40周年記念行事関係経費

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックごと に最大の金額が 支出されている者 について記載す る。費目と使途の 双方で実情が分 かるように記載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	a					
	計		0	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名： 日・ASEAN40周年記念行事関係経費

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					